

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号 新32 - 0010

平成31年度行政事業レビューシート (内閣府)											
事業名	創発的研究支援事業				担当部局庁	政策統括官(科学技術・イノベーション担当)			作成責任者		
事業開始年度	平成32年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし		担当課室	参事官(イノベーション創出環境)			渡辺 栄二		
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法第4条及び第26条				関係する計画、通知等	・「第5期科学技術基本計画」(平成28年1月22日閣議決定) ・「統合イノベーション戦略2019」(令和元年6月21日閣議決定)					
主要政策・施策	科学技術・イノベーション				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	統合イノベーション戦略2019等を踏まえ、多様性と融合によって、研究者自らが定めた挑戦的な研究テーマに集中的に取組み、破壊的イノベーションの創出を目指す「創発的研究」を支援する。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	研究者の裁量を最大限確保した挑戦的・融合的な研究を、大学等の研究環境の整備と一体的に支援する。 事業の実施にあたっては挑戦的・融合的な研究構想を公募し、各研究者が所属する大学等研究機関のコミットメントの下、研究者は挑戦的・融合的な研究に努め、研究機関は創発的研究の遂行にふさわしい適切な研究環境を整備する。										
実施方法	委託・請負										
予算額・執行額 (単位:百万円)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	2,000				
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
	計		0	0	0	0	2,000				
	執行額		0	0	0						
	執行率(%)		-	-	-						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-						
平成31・32年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由						
	科学技術基礎調査等委託費		-	2,000	「新しい日本のための優先課題推進枠」2,000						
	諸謝金		-	0							
	その他		-	0							
計		-	2,000								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
	研究者が創発的研究に集中できる研究環境が形成される		今後設ける資金配分機関と当府等との間での検討の場での過程を踏まえ決定する		成果実績						
					目標値						
					達成度	%					
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-										

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	32年度活動見込		
		今後設ける資金配分機関と当府等との間での検討の場での過程を踏まえ決定する		活動実績		-	-	-	-			
				当初見込み		-	-	-	-			
単位当たりコスト		算出根拠			単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込			
		／		単位当たりコスト								
				計算式	／							
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	-									
		施策	-									
		測定指標	定量的指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
			-		実績値	-	-	-	-	-	-	
					目標値	-	-	-	-	-	-	
			定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)						
			-				-					
							施策の進捗状況(実績)					
		-						-				
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	-											
	新経済・財政再生計画改革工程表 2018	取組事項	分野:	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	30年度	31年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			-		成果実績	-	-	-	-	-	-	
					目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-		
		(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	30年度	31年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			-		成果実績	-	-	-	-	-	-	
					目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善				
	項 目		評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	科学技術イノベーションは資源の乏しい我が国が将来にわたり成長と繁栄を遂げ、新たな価値を生み出し続けるための「要」であり、我が国の社会的・経済的な豊かさを生み出すものである。また本年4月に経団連がとりまとめた提言においては、課題や短期目標を設定せず、多様性と融合によって破壊的イノベーションの創出を目指す「創発的研究」について、「政府が積極的に投資すべき」と、その重要性やニーズについて明確に指摘されている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	大学等研究機関における研究環境整備を支援しつつ、課題や短期目標を設定しない自由な研究を長期的かつ一体的に支援し、経済的価値の創造に結びつけることには高い不確実性が伴うことから、市場原理に委ねるのみでは十分に取り組まれない。よって民間や地方自治体に事業の実施主体を委ねるべきものではなく、国主導のもと、積極的に推進する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	本事業は、当府が検討を進めている「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」においても重要な検討課題の1つとなる見込みであることから、優先度の極めて高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			
	競争性のない随意契約となったものはないか。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			
	所管府省名	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果			
	改善の方向性			
外部有識者の所見				

行政事業レビュー推進チームの所見							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	-
平成30年度							
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	政策統括官(科学技術・イノベーション担当) 2,000百万円 ↓ 資金配分機関等 200百万円 (支援業務関係経費) ↓ 研究主体 1,800百万円 (研究費・創発的研究環境整備関係経費)						